

ともに生きる

No.35

平成30年3月発行

ご挨拶

春の到来が待ち遠しい今日この頃です。



後援会会長
佐々木孝二

神戸医療福祉大学後援会会員の皆様には、日頃より後援会の活動に、ご理解・ご協力を賜り心より御礼申し上げます。

平成29年度も、教育事業・地域交流活動・課外活動などを中心に支援を実施させていただきました。さて、世界トップクラスの長寿国日本ですが、介護が必要なのに施設でも在宅でも適切な介護サービスが受けられない高齢者が、年々増加の一途をたどっています(介護難民)。それに伴いニーズが高まってくる介護サービスですが、人手不足は深刻な状況です。現状の国や自治体の対策では、解決は程遠いでしょう。他にも老老介護・介護離職など、将来に不安を感じることが多くなりました。さらに「待機児童問題」ですが、これも根本的な原因のひとつには保育士の不足があげられます。介護・保育どちらも日本社会を支えていくうえで、なくてはならない職種であることを社会全体が認識してほしいと願います。給与向上も含めて、処遇改善・リスペクト(敬意を払う)することが非常に大事だと思います。それと、介護業界全体が効率化を図って、スマート化し生産性を上げることが大きな使命です。それこそが要介護者にとって、そして介護職員をはじめとする介護者にとって、幸せを感じられるような介護ライフを実現する手立てと言えるでしょう。他方、介護に関わる負担を軽減するために心身の健康を維持し健康寿命を延ばすことも必要です。これは高齢者のQOL(Quality of Life)の向上にも繋がっていきます。グローバル化の進展、国内における生産年齢人口の急減などに伴い、予見の困難な時代の中ではありますが、卒業生の皆様、社会において福祉のプロとして活躍できる人材となってください。本学で学んだ知識と行動力があれば、チャンスは十分にあると思います。

在校生の皆様、4月に入学される新入生とともに、自然豊かなキャンパスで伸び伸びと勉強・課外活動に励んでください。最後になりましたが、神戸医療福祉大学の更なる発展を祈念して挨拶とさせていただきます。



平成29年度 第1回 役員会

目次

●会長挨拶	1
●大学代表挨拶(学部長)	2
●大阪天王寺キャンパス	3
●就活生とかけて… 一不安の反対・・・!?動く—	4
●「ハッピーちゃんの部屋」の紹介	5
●妖怪パレード&仮装コンテスト	6
●姫路キャンパス 学友会 リーダーズ研修会 ●こうふくフェスタ 播彩祭	7
●大阪天王寺キャンパス 学友会活動 ●学園祭	8・9
●実習体験記	10
●就職活動を振り返って	10・11
●愛顔つなぐえひめ国体出場 ●教育懇談会のお知らせ	
●後援会総会のお知らせ ●アルバム委員会からのお知らせ	12



ご挨拶

学部長
伊藤 秀樹

まだまだ寒い日は続いていますが、春の香りを感じる今日この頃です。

後援会の皆様には、本学の学生並びに教職員をさまざまな面からご支援いただき、本当にありがとうございます。

本学は2000年に開学してから早や18年が経ちましたが、この4月には、2000年に誕生した学生も入学してきます。開学以来本学は、通称、神・福・大こうふくだいとも呼ばれ親しまれてきましたが、皆様はその由来をご存じでしょうか？

本学が位置する神崎郡福崎町は、幸福の地であり、そこから、「かみ」と「ふく」が発進され、自分のためだけでなく広く人々の幸福を思い、大学、地域、日本、そして世界に「幸福」がもたらされるようにとの願いが言葉の中に込められています。

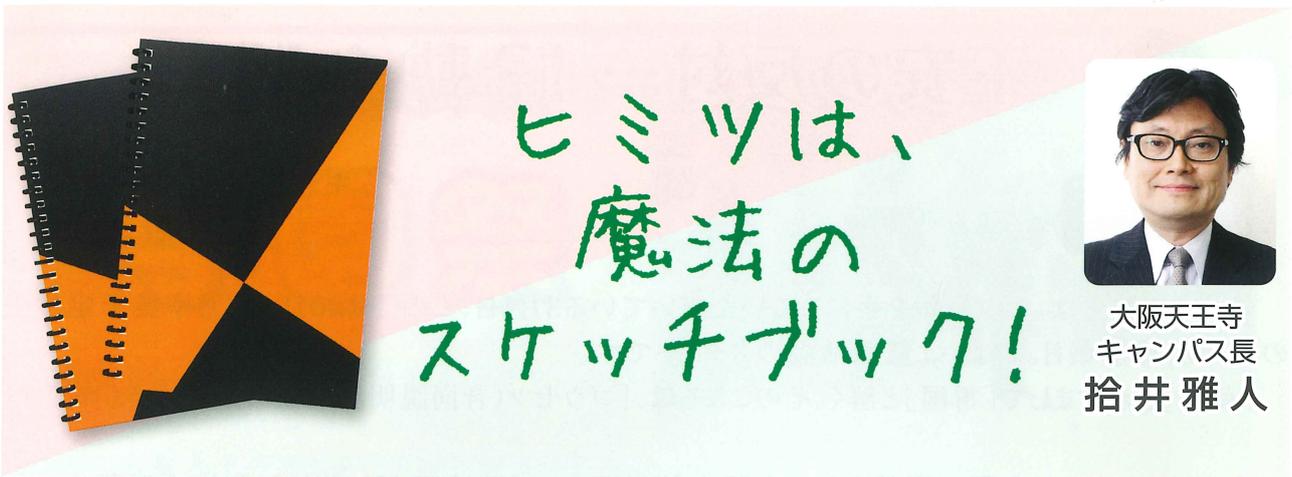
このことを受けて大学の活動もまずは地域からということで、いろいろな取組を行っています。その主なものとしては、2014年度にスタートして毎年開催（計4回）されている福崎マラソンがありますが、述べの参加人数は1650名を超えるまでになり、今年の実施で2000名に達すると予測しています。

地元の福崎高等学校とも、平成28年11月に高大連携協定を結んで以来、高等学校の授業やオープンスクール、教職員の研修会などで本学の教員がお話しする機会をいただきました。さらには大学が主催する行事等にもいろいろとご尽力いただいたりするなど、さまざまな連携が実践されています。同じく地元の市川高等学校とも昨年の9月に協定を結び、今後の取組について協議を進めています。

さて、このような取組のなかで、私自身が持っている学生へ教育観や想いを述べさせていただきます。大学の“建学の精神”に基づく教育理念がベースにあることは言うまでもないことですが、もう少し詳しく述べるなら、一人一人が持っている個性や特徴をいち早く発見し、彼・彼女らの“よさ”として伸ばしていくこと。そのためには、学生が自らを表現できる環境づくりが大切だと思っています。また卒業した学生たちが、実社会でさまざまな困難に遭遇したときに、プラス志向・前向きな気持ちで乗り越えてほしいと切に願っています。でも、最近思うことは、学生を支えているようで、実は支えられているのは自分ではないかということです。

さて、いよいよ新年度が始まります。後援会の皆様には、今後も引き続き本学へのご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。





秋の高速道路を走るワゴン車の中は、まるで遠足気分。乗っているのは、教職員2人と6人の留学生、そして6冊のスケッチブック。どこかで写生会かな？

10月18日(水)の朝。出発前、6人の留学生は二人一組のペアになって、互いのスケッチブックを見せながら、なにやら熱心におしゃべり。よく見ると、スケッチブックの中身は、母国の地図、人口、民族衣装の写真、有名な場所や料理の写真。しかも、話している言葉は、みんな英語。留学生の国籍は、ネパール、フィリピン、中国。大阪天王寺キャンパスでは「国籍の異なる留学生と話すときは日本語で!」と指導しているのに…。

ワゴン車は10時半にキャンパスを出発。高速道路を乗り継いで、一路、滋賀県へ。右手に見えてきた琵琶湖を見て、「日本に来て、初めて海を見たあ〜!」という留学生も…。途中でランチを済ませて、13時に目的地に到着!

滋賀県立北大津高校。そこで開催される、国際文化コースの2年生対象の「英語活用体験」特設講座。6人の留学生はこの講座に参加。でも、学生としてではなく講師として!

彼ら彼女らにとって日本の高校の中に入るのは初めて。講座への期待と、アニメではないリアルな高校への好奇心で、興奮気味。そして、そのテンションのまま、いざ会場へ!

会場に入ると、高校生の皆さんの方が初めて見る留学生にちょっと困惑気味。留学生の簡単な自己紹介が終わると、6つの班の中に留学生が一人ずつ入って、今度は高校生の皆さんから、わがまちの紹介。そして、いよいよ、あのスケッチブックの登場。あちこちから「へ〜」「ウォ〜」「アハハ」…。留学生の話すゆっくりとした英語と、高校生の皆さんのジェスチャー交じりの英語と、魔法のスケッチブックが織りなす国際交流。最後は、全員で英語の歌と記念撮影。その後も記念撮影は教室のあちらこちらで、いつまでも。

後日、北大津高校の先生からアンケート結果が届きました。とてもよかった:20人、よかった:8人、まあまあ:0人、よくなかった:0人。一方、留学生は、自主性が尊重された雰囲気、少人数のクラス、アニメや映画と変わらないリアル高校生に感動・感激!

なお、11月16日(木)には1年生対象の同じ講座が開催され、ベトナム、フィリピン、中国の6人の留学生が講師をしてきました。次は、地元の高校にも出前講座してみようかなあ〜。もちろん、スケッチブック持参で…。





不安の反対…!? 動く!!

キャリアサポート部長

本多 浩子

皆様こんにちは。この会報を手にしていただいている3月1日、この日は2019年3月卒業予定学生の採用広報解禁日。いよいよ就職活動のスタートです。

「就活」とかけまして「雪国」と解く。そのころは、「ゴウセツ(合同説明会／豪雪)」がつきものです!

本学では、この日大阪で開催される合同会社説明会にバスを運行し参加します。「百聞は一見に如かず」といいます。いやいや「百見は一考に如かず」いやいや「百考は一行に如かず」です。百回聞くよりも、百回見るよりも、百回考えるよりも1回実行したほうがよいということです。合同説明会に参加するためには、参加企業を確認し、履歴書を準備。髪を整え、髭を剃り、ネクタイを締め、スーツを身につけ、リクルート鞆を持ちいざ出陣。そして企業人事担当者にさわやかな挨拶をし、経営方針や理念、求める人材像を確認、少しでも印象に残るようにする。そして会場には、同じときに就職を予定している学生がところ狭しと、列をつくり、ブースに並ぶ。動くということは、これらを肌身で感じるということです。この日1日で、参加した学生の顔つきは変わります。具体的に動くということで、今何をしないといけないかを掴むことができます。就職活動に対する漠然とした不安を抱えるときこそ、動くことが大切です。希望する会社、施設に見学に行くこともその1つ。疑問や悩みを持ったとき、一人で悩まず、キャリアセンターの相談窓口動くことです。



とりあえず、「動く」こと。

4年生までの1年生から3年生では、その学年ごとにキャリアサポートが進行しています。資格取得支援講座の開催もその1つです。資格対策講座の受講により、履歴書の資格取得の項目に在学3年間に挑戦した足跡を記すことができます。後援会からは、この講座受講に対し、「資格取得奨励費支給制度」を設け、ご支援をいただいています。多くの学生が活用し、プラスαの学びから資格を取得し、自分を信じる力、「自信」を手にし、4年生を迎えてもらいたいと思います。

最後に、「就活生」とかけまして「アイドル」と解く。そのころは、「ファン(不安／ファン)」が押し寄せます。ぜひ、保護者の皆様にも学生が不安を抱えるときこそ、「動く」を支援いただければと思います。日頃の後援会のご支援、ご協力に心より感謝申し上げます。

□資格取得支援講座については、新年度オリエンテーション案内等保護者宛文書に同封しご案内しています。



「ハッピーちゃんの部屋」の紹介

社会福祉学科

黒木利作

	
初代キャラクター 「Hukuko」	現キャラクター 「ハッピーちゃん」

本学の公式ブログ「ハッピーちゃんの部屋」は平成22年にフクロウがキャラクターの「Hukukoの部屋」として誕生しました。その後平成25年に現在の四葉犬(しばけん)のハッピーちゃんがキャラクターとなり、現在の「ハッピーちゃんの部屋」となりました。ハッピーちゃんは学生対象のコンテストの中から生まれました。はやいもので、ブログ開始から8年目になります。

ブログの内容は、学内のトピックスを中心に、地域紹介や作品紹介などで、1週間に最低2回は更新するようにしています。

ネット上にアップするという事は、大学の顔として世界に発信するということですので、担当する教職員はそれなりに緊張感があります。その中で特に担当者が心がけていることを以下に紹介します。

①情報が正確であること

アップした後に間違いに気付き、あわてて更新することも時々あります。

②「絵」になるものであること

風景はキレイなもの、人物は明るい表情のものを選ぶようにしています。

③アップする際は相手の了解を得、決して無理強いはいしない

また学内、学外を問わず、アップしたあとは可能な限り相手に報告するようにしています。

④自然にシンプルに

広報的になりすぎず、できるだけ普段のようすを伝えるようにしています。

⑤表現は明るくポジティブに

分かりやすい表現を用い、遊び心も盛り込むようにしています。

⑥誰に向けて発信するのかを意識する

見る人は在学生、卒業生、保護者等多岐にわたるので内容が偏らないようにしています。

⑦新鮮な情報を提供する

季節感も意識し、できるかぎり直近の情報をアップするようにしています。

ブログには担当者の個性が出るため、現在はやや自然ネタが多い傾向がありますが、これからもハッピーちゃんの部屋をよろしく願いいたします。サイト内のアーカイブから、過去にアップしたものを見ることもできますよ。みなさま、またいいネタがあれば教えてくださいね。



「妖怪パレード&仮装コンテスト」



社会福祉学科 兼子 一

地域連携・社会貢献推進委員会では、本年度、新企画として「妖怪パレード&仮装コンテスト」を開催しました。

これは、平成30年度以降に具体化を目指している福崎町と関係した新事業のテストケースになります。当委員会では、これまでの活動を見直し、地域の人々に大学へと足を運んでいただく内容から、本学(教職員や学生)が自治体や各種団体と協同して地域に出て行く形に活動内容を替えてきています。この企画にもそのような意図があります。

そのため試行錯誤の段階にあり、ひとまずは大学祭実行委員会の協力を得て、大学祭「2017こうふくフェスタ播彩祭」の前夜祭イベントとして、10月27日に事業モデルのデモンストレーションが実現できました。

さらに今回は、特別ゲストとして、福崎町のキモカワイイ妖怪キャラ「カッパのガジロウ」と、妖怪イベント活動で有名な京都市の妖怪藝術団体「百妖箱」に来ていただき、このデモンストレーションを助けていただきました。

当日は、福崎駅前で、妖怪仮装した教職員がチラシを配って、大学祭の案内や公開講座の宣伝をしました。キャンパスでは学生や教職員が扮する妖怪が出没、徘徊し、百鬼夜行?ハロウィン?の仮装行列は大きな盛り上がりを見せました。ご協力いただきました皆さまに感謝申し上げます。



姫路キャンパス
学友会運営委員会

平成29年度
学友会リーダーズ研修会 報告

姫路キャンパス 学友会運営委員会
委員長 松本聖奈

今年(平成30年2月15日実施)のリーダーズ研修会テーマは「千里一歩」。大学、そして自分たちをより良くしようという意味を込めました。次年度の行事や、学校改善のための様々な会議、グループワークを行いました。1日という短い期間でしたが、リーダー間の親睦も深まり、良い時間が過ごせたのではないかと思います。最後のプログラムではみんなで大縄跳びにも挑戦し、飛躍を誓いました。

研修では、大学生活を有意義に過ごすためには自発的に活動していくことが、なによりも大切だと参加者のみなさんに知ってもらえたと思います。

来年度も学友会活動にご支援、ご協力をよろしくお願いします。



第18回

2017
こほろく
フェスタ

播彩祭 in 姫路キャンパス

テーマ「絆」
(つむぐ)



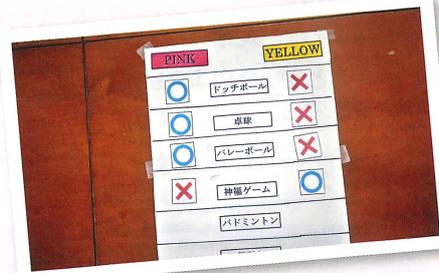
後期イベント

こんにちは!!!フィリピンから参りました3回生のラウロン マール ネル サロモンです。2017年度の学友会会長です。楽しいこと、面白いことがあり過ぎて、この1年を振り返ると、本当に早いものだったと思います。全てのイベントが非常に盛り上がりました!

毎年恒例の後期親睦会、学園祭、クリスマス会も開催しましたが、今年度、大阪天王寺キャンパスの初運動会を開催しました。

運動会には、7種目がありました。ドッチボール、卓球、バレーボール、神福ゲーム、バドミントン、綱引き、そしてフリースローでした。参加者はイエローチームとピンクチームに分かれて、各チームのビブスを渡すとみんなが盛り上がりました。みんな力を合わせ、チームメイトを応援し、参加者達は勝ち負け関係なく最後まで諦めずに走り切りました!それぞれの得意分野に力を発揮して、素晴らしい活躍をみせてくれて、本当に感動しました。

この運動会でまた新たな絆が生まれたと思います。学生同士の間だけではなく、学生と先生との間にも一つの思い出ができたと感じました。来年もまた盛り上がっていきましょう!!



大阪天王寺キャンパス

学園祭

みなさん、こんにちは!大阪天王寺キャンパス3年生ラウロン マール サロモンです。10月28日に大阪天王寺キャンパスの学園祭を開催しました。当日、天気予報によれば、雨が降ると予想されていましたが、奇跡が起きて、天気が良くなりました。本当に良かった。

オープニングが近づくにつれて、学生たちの間には笑顔が溢れ、益々準備に力が入りました。7階のメインステージでは、ダンス、ファッションショー、マジックショー、カラオケ大会、クイズ大会、そしてビンゴ大会と、次々とイベントが行われました。イベントがスタートすると同時に学生たちが各国最高の自慢料理の販売を開始しました。6階の縁日、5階の段ボール迷路には、子供から大人まで楽しく参加していただけたと思います。

地域の方々もキャンパスにお越し下さり、学生たちと交流できました。地域の方々と一緒にとても盛り上がった、楽しい1日を過ごしました。学生たちと先生方の協力のお陰で、今年も学園祭は成功しました。来年もよろしくお祈りします。



実習体験記



健康スポーツ
コミュニケーション学科
小泉 翔

教育実習体験記

私は母校である徳島の県立高校へ5月に三週間、教育実習に行かせていただきました。保健体育の授業や高校1年生のクラスを担当させていただきましたが学ぶことの多い実習でした。

先生方は親身になって指導をしてくださり、授業の仕方はもちろんのことHRの進め方、生徒への接し方など様々なことについて教えてくださいました。授業1つにしても指導するクラスや先生によってやり方は様々であり、とても考えさせられました。ただ全ての事に共通して生徒の為にということを深く考えており、そのことに対する熱意を持って動くことの大切さを感じました。また社会人として他人への気配りや準備、時間に対する姿勢など当たり前のことをしっかりとすることに大学生活では感じない厳しさを再確認しました。

3週間という短い期間でしたが、ご指導いただいた先生方や生徒達への感謝を忘れず、この期間に学んだことを次に活かしていきたいです。



社会福祉学科
福祉心理コース
岡村 美玖

精神保健福祉士実習を終えて

私は高知県の総合心療センターと愛媛県の地域活動支援センターで実習を行いました。病院と地域の施設の2つの機関で実習を行うことによりそれぞれの役割や、ご本人が退院後どのように支援されているのか、生活していく上での病院の在り方など学ぶことが出来ました。

この実習で1番大変だったことは、出来事に対して「なぜそのように思い行動したのか?」という風に一つ一つの行動に意味を問われた事です。ある患者さんのご自宅に訪問した際に、その自宅を見て、何を思い何を感じたのか、なぜそのように感じたのか実習指導者に細かく問われた事があります。私は今まで生きてきた中でこのように自分の気持ちや思いを深く考える機会が無かったのでとても難しく、伝えたい思いを言葉に出来ない歯がゆさを経験しました。しかし、実習指導者はこの言葉に出来ない歯がゆさこそ、患者さんと関わる上で大切な事だと仰っていました。患者さん自身上手く言葉に出来ないことがあり、PSWは会話を通して様々な角度からアプローチをし、言葉に出来ない気持ちを汲み取っていかねばいけないと教えて頂きました。

実習を終えて、物事の見方が大きく変わったし、自分の欠点もたくさん見つかりました。この実習で学んだことを忘れず、1人前の精神保健福祉士になれるまで学び続けたいと思います。



社会福祉学科
こども福祉コース4年
税所 大樹

保育所実習で学んだこと

私は、福岡市私立サルビアこども園で10日間の保育所実習を行いました。

サルビアこども園では、0歳クラスから5歳クラスまでの乳幼児がいますが、そのなかで5歳児クラスを担当させていただきました。毎日の実習のなかで、保育園での子どもたちの年齢による活動の違いや、保育者の子どもたちに対する援助の仕方など多くの事を学ぶことができました。

実習では、慣れない事ばかりで、戸惑いも多くありました。子どもたちは、とても元気ですし些細なことでの喧嘩は日常茶飯事です。その時の援助は、お互いの意見を聞き、子どもにどのように話せば理解してくれるかを考えましたが、難しい時が多々あり保育者に指導を受けながら関わりました。

また、子どもたちに保育者と同じように対応をしているつもりでも、なかなか聞いてもらえず困ったことがありました。その時は、子どもの目線に立ち、子どもたちに寄り添い合いながら援助するようにしました。それでも、思い通りにできず辛くて悩んだ時は、一番に子どもたちの笑顔を思い浮かべながら、また頑張ろうと思うようにしました。

今回の保育所実習で、保育者の子どもへの関わりが、子どもたちに与える影響が大きいことも学びました。今後、実習で学んだことを活かしながら日々努力したいと思います。

就職活動を振り返って



経営福祉ビジネス学科
尹 相宇
(ユン サンウ)
内定先:
(株)ニチイ学館

私は、就職活動をして本当に良かったと思います。広い視野を持つことと、自己分析を通じて、毎日、成長していく自分が見つかりました。

もちろん、大変なこともありました。就職活動を始めた当初は、ほとんどの企業に落ち、エントリーシートがなかなか通過せず悩んでいました。その時、私は、様々な人から情報を得たり、相談に乗ってもらったりしながら、克服していきました。

このように多くの方たちから助けていただいたことが、今振り返ってみると、私の就職活動で一番大きなポイントだったように思います。



社会福祉学科
福祉心理コース
榎原 侑佳
内定先:
社会福祉法人
神戸福生会

「将来は福祉の相談職に就く」そのためにまず「介護職として働き現場について知る」という想いを胸に就職活動を行いました。

具体的には、3月中に合同説明会そして企業説明会へ参加しました。夏休みには実習、その後は国家試験を控えていたため、春休みの間にできることをしようと考えていたからです。

最終的に就職先を選んだ決め手は雰囲気です。ありふれた理由に思えますが、雰囲気が良かったということ、そして違和感がなかったというのが率直な感想です。

こうしておけば良かったという点は、事前に履歴書、エントリーシートを準備しておくことです。なぜなら、自分と向き合いその思いを言葉にするには時間がかかるからです。みなさまのご活躍をお祈りしています。



健康スポーツ
コミュニケーション学科
谷 賢洋
内定先:
警視庁

私は、昔から人の役に立つ仕事や人を助ける仕事がしたいと強く思っていたこともあり、将来は警察官になりたいと思い、目指すようになりました。警察官になるには一般教養も必要になるので、三年生の秋頃から大学で実施している公務員講座を受講し、勉強を習慣づけました。私は四年生の秋まで部活に打ち込んでいたこともあり、周りの学生より勉強時間を作れない分、短い時間でも誰にも負けないくらい集中し、部活の練習前や練習後に少しでも大学に残り勉強しました。それでも、両立が大変で妥協しそうなこともありました。そういう時は勉強する場所を図書館や自習室に移しました。そこではたくさんの学生が国家試験や教養試験に向けて勉強していました。その努力している姿を目にすると刺激を受け、私も頑張ろうという気持ちになりました。

今、就職活動をしていたり、これからしていくみなさんは不安も多いと思いますが、諦めずに一生懸命努力してみて下さい!きっとやってきてよかったと思う日がくると思います。在校生の皆さんの健闘を祈ります。



社会福祉学科
医療福祉コース
福永 将大
内定先:
社会福祉法人
常磐会(鹿児島県)

私は、部活動に専念していたために4年生になってから就職活動を始めました。一般企業への就職は考えていなかったこともありますが、すでに内定をもらっている人がたくさんいることを知り、焦る気持ちがありました。そんな中でもまず、地元で就職することと福祉関係への就職することだけを考えました。自分に合う職場をインターネットで探し、説明会に参加して、内定をいただきました。就職活動中は、自分自身がこの道に進みたいという気持ちは曲げてはいけないと思います。たくさんの説明会に参加し、ここなら成長できるという企業を選んでいくください。そして本学のキャリアサポート部就職課をしっかり活用することをおすすめします。



社会福祉学科
介護福祉コース
立石 さやか
内定先:
姫路医療生活
協同組合

私は4月から合同説明会や会社説明会に行き始め、神戸や大阪まで出向きいくつか内定を頂くことができました。しかし、地元・姫路で働きたいという気持ちが強くなり、地元での就職を決意しました。インターンシップに参加し面接試験を経て、夏に内定を頂くことができました。国家試験を受ける学生は早めに内定を頂いている方が、後に焦らず勉強に集中できると思います。

自分の目でしっかりと確認し、時には周りの人やキャリアサポートの方などの力を借りることも内定に繋がると思います。自分らしさを忘れず、積極的に物事に取り組んでください。皆さんの健闘を祈ります。



社会福祉学科
子ども福祉コース
山元 絵莉花
内定先:
社会福祉法人
幸悠会 保育士

私は、4年生の後期が始まると同時に就職活動を開始しました。活動を始めるのが遅かったため、すでに内定をもらっている友人を見るととても気持ちが焦りました。

就職活動では自分で足を運び何箇所か園を見学に行きました。求人票を見るだけでは分からないことも直接自分の目で見ることで園の雰囲気や方針など知ることができました。地元を離れ就職しようと考えていたので不安なことも多くありましたが、一人で抱え込まず就職課の方、先生方、両親に相談し内定を得ることができました。在校生の皆さんも色々な人からサポートもらってください!ご健闘をお祈りします。



健康スポーツ
コミュニケーション学科
赤山 優希
内定先:
小林電工株式会社

私は3年生の2月ごろから就職活動を始めました。まだこれがしたいと言う職業がハッキリとしなかったため、周りの友人より少し早く活動することになりました。今思えば、様々な職種の説明会や体験などで自分のやりたい就職先を探すためには必要な事でした。最終的には自分の持ち味であるコミュニケーション能力を活かせる、商社の営業マンを目指し面接を受けていきました。就活を成功させるには周りの意見を聴き、それを踏まえて自分自身で多くのことを体験することが大切だと思います。

えがお
第72回国民体育大会「愛顔つなぐえひめ国体」
兵庫県選抜選手として出場!!



平成29年10月1日(日)から10月4日(水)まで開催されました、第72回国民体育大会に於いて男子バスケットボール部 廣山 雅尚君(健康スポーツコミュニケーション学科2年)が、兵庫県バスケットボール協会より兵庫県成年男子選抜選手として選出されました。

廣山君の活躍は1年次から注目され、関西学生選抜候補にも、1部リーグ以外の大学から初めて選ばれるなど、注目の選手です。



平成30年度 教育懇談会開催について (ご案内)

平成30年度前期教育懇談会を右記のとおり開催いたしますのでご案内申し上げます。この懇談会は学生それぞれの学修状況、就職活動など、学生生活に関する内容についてご相談いただける機会となっています。

つきましては、ご子女への学修支援に向けさらなる充実が図れるよう多数の皆様のご出席を心よりお待ち申し上げます。

記

- 1.日 時: 平成30年6月23日(土)
13:00~15:00(受付12:30開始)
- 2.会 場: 神戸医療福祉大学 姫路キャンパス

※詳細につきましては別途ご案内させていただきます。



平成30年度 後援会総会のお知らせ

日 時: 平成30年6月23日(土)11:00~12:00
場 所: 神戸医療福祉大学 姫路キャンパス

【後援会新役員の依頼にあたって】

神戸医療福祉大学では、毎年1年生の保護者の方へ後援会役員への就任をお願いしています。

その際、4月中旬から5月中旬にかけて、後援会事務局より保護者のご自宅へお電話することがありますので、悪しからずご了承ください。

卒業生の皆さんへ

平成29年度アルバム委員
からのお知らせ



卒業アルバムは後援会からの補助により卒業生全員に配布されます。

完成送付時期は平成30年8月ごろを予定しています。



発行日: 平成30年3月1日

発行: 神戸医療福祉大学後援会

事務局 学生課 〒679-2217 兵庫県神崎郡福崎町高岡1966-5

TEL (0790) 22-5125 FAX (0790) 22-6941 E-mail: gakuseibu@sw.kinwu.ac.jp

HP: <http://www.kinwu.ac.jp/>